

平成 19 年度 第 1 回 運営小委員会

日 時 2007 年 11 月 15 日 13:30～14:55

場 所 土木学会 A・B 会議室

参加者 (委員長) 西脇 (幹事長) 日比谷 (委員) 市川、関根、進士、近久、宇野、
中村、井上、中島、瀧本、亀村、武内 (作成) 計 13 名

配布資料 資料 01 平成 19 年度第 1 回岩盤力学委員会運営小委員会議事次第
資料 02 平成 18 年度第 2 回岩盤力学委員会議事録
資料 03 企画小委員会
資料 04 論文小委員会
資料 05 欠番
資料 06 岩盤構造物のアセットマネジメントに関する研究小委員会
資料 07 岩盤斜面のハザード評価研究小委員会
資料 08 先端技術を利用した岩盤計測の体系化と実際への応用に関する研究小委員会
資料 09-1 新研究小委員会趣意書 岩盤工学による国際活動支援研究小委員会
資料 09-2 岩盤工学による国際活動支援研究小委員会名簿
資料 09-3 岩盤工学による国際活動支援研究 WG
資料 10 2007(平成 19)年度活動状況について 軟岩の物理化学特性評価に関する研究小委員会
資料 11-1 平成 18 年度調査研究委員会の活動度評価の結果について(報告)
資料 11-2 調査研究委員会の活動度評価の推移(委員会数)
資料 12 平成 20 年度事業計画及び予算要求調書
資料 13-1 岩の力学連合会平成 19 年度第 1 回拡大常任理事会報告
資料 13-2 岩の力学連合会第 1 回理事会報告要点
資料 13-3 第 12 回岩の力学国内シンポジウム
資料 14 岩の力学連合会国際技術委員会 ISRM、FIGS、JTC
資料 20 平成 18 年度第 3 回運営小委員会議事録

議事内容

0. 委員長挨拶 (西脇)

運営小委員会は活動中間報告と来年度の計画を話し合うために、岩盤力学本委員会に合
わせて中間期にも行うこととし、本日は今年度の第 1 回である。内外の環境は厳しいが、
国際化に向けての活動や体制整備を行ってきているので、よろしくお願ひしたい。

1. 配布資料および前回議事録確認 (日比谷、井上)

- ・ 幹事長による配布資料確認後、資料 20 により前回議事録を確認

- ・ 一部指摘のあった点を修正し、後日送付し確定
2. 企画小委員会（中村）
 - ・ 資料 3 により企画小委員会の活動状況を説明
 - ・ 議論としてあったのは、企画小委員会が設立された当時のもとの趣旨と活動内容が少し違ってきているのではとのことで、今後は少し本来の目的に立ち返って活動内容を見直す予定
 3. 論文小委員会（中島）
 - ・ 資料 4 により論文小委員会の活動状況を説明
 - ・ 次回の岩盤力学シンポについては、プログラム修正としてミニ討論会を講演会とする
 - ・ 表彰規定については 1 次審査で足切りとなること等の課題もあるが、今回はこれで承認とし、来年度には議論を継続
 - ・ ポスターコアタイムの時間帯、特に懇親会との並行進行については要検討
 4. リニアコライダー研究小委員会（近久）
 - ・ 口頭でリニアコライダー研究小委員会の活動状況を説明、後日メモにして送付すること（資料 5 となる予定）
 - ・ KEK のプロジェクトとしては新しい Phase に入り、今年度も KEK から約 95 万円の受託を土木学会として受託する予定で現在契約の最終調整中
 - ・ 本小委員会は今年度で活動を完了させる予定で、報告書の最終調整等で半年程度は実質伸びるかもしれないが、予定通り活動終了
 5. 岩盤構造物のアセットマネジメントに関する研究小委員会（亀村）
 - ・ 資料 6 により岩盤構造物のアセットマネジメントに関する小委員会の活動状況を説明
 - ・ 来年度に出版を計画しており、その申請は土木学会に実施済み
 6. 岩盤斜面のハザード評価研究小委員会（進士）
 - ・ 資料 7 により岩盤斜面のハザード評価研究に関する小委員会の活動状況を説明
 - ・ 可能ならば 1 年延長して出版に向けたとりまとめを行いたいので、企画小委員会に申請（企画としては原則として一度完了させてほしいが、申請をみて判断）
 7. 先端技術を利用した岩盤計測の体系化と実際への応用に関する研究小委員会（中島）
 - ・ 資料 8 により先端技術を利用した岩盤計測の体系化と実際への応用に関する研究

小委員会の活動状況を説明

- ・ 同じく、可能ならば 1 年延長申請予定で企画へ申請書送付
8. 岩盤工学による国際活動支援研究小委員会（瀧本）
- ・ 資料 9 により岩盤工学による国際活動支援研究に関する研究小委員会の活動状況を説明
9. 軟岩の物理化学特性評価に関する研究小委員会（市川）
- ・ 資料 10 により軟岩の物理化学特性評価に関する研究に関する研究小委員会の活動状況を説明
10. 平成 18 年度調査研究委員会の活動度評価の結果および来年度予算（日比谷）
- ・ 資料 11-1、11-2、12 により平成 18 年度調査研究委員会の活動度評価の結果および来年度予算を説明
 - ・ おかげさまで評価は A となり、それに基づき来年度予算が確保される予定
11. 岩の力学連合会の報告（近久）
- ・ 資料 13-1、13-2 により最近の岩の力学連合会の状況を説明
12. 第 12 回岩の力学国内シンポジウム（進士）
- ・ 資料 13-3 により来年 9 月に山口で開催される第 12 回岩の力学国内シンポジウムの概要を説明
 - ・ 皆さんの投稿、参加、ご支援の依頼があった、土木学会としては委員として岸田、小山の両名を選定し推薦
13. 岩の力学連合会国際技術委員会 ISRM、FIGS、JTC（近久）
- ・ 資料 14 により最近の国際的な動きである IRMS、FIGS 等の状況を説明
 - ・ 今後も国際的な動き等のニュースについては継続的に集めるものとし、具体的には何が問題で、何をどうするべきかについて等の対応方策について整理
 - ・ 次回の運営会議等で時間を取って議論する予定
14. 土木学会岩盤力学委員会の資料について（日比谷）
- ・ 省力化のため、資料 1 から 13 までをあとからの岩盤力学本委員会の資料とするため、各自確保

以上